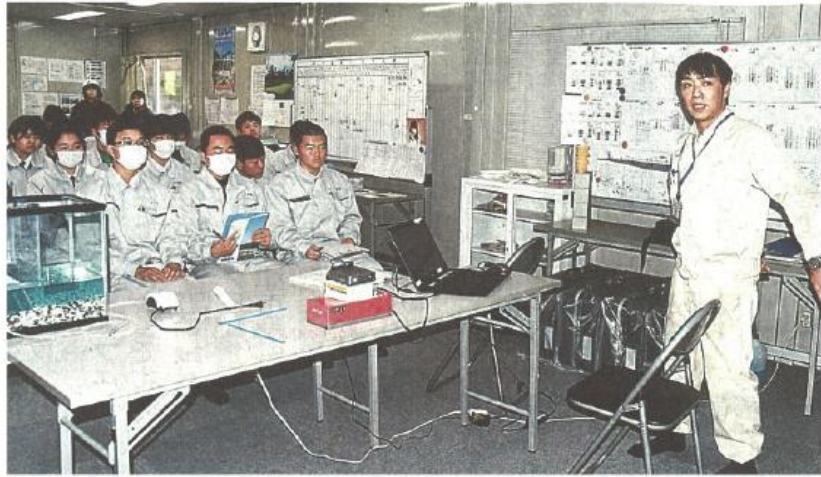


# 土木の仕事身近に

## 富士、富士宮、静岡農高生 現場見学

県は28日、土木工事の仕事を身近に感じ、やりがいを知ってもらおう講座「静岡どほくらぶ」を富士、富士宮の両市で開いた。県立静岡農業高2年生約30人が建設現場を見学した。



新々富士川橋の建設工事について学ぶ生徒＝富士市内

富士市の仮称・新々富士川橋の建設現場では、現場担当者から橋の重要性や、橋を支える橋脚の工法を学んだ。新々富士川橋は、地上で造った橋脚を地下に沈める「ニューマ

チックケーソン工法」を採用。耐震性に優れ、エツフェル塔やレインボーブリッジなどにも使われていることなどの説明を受け、熱心にメモを取った。

富士宮市では白系の滝や富士山世界遺産センター周辺の道路整備を見学。信号機を使わない交差点「ラウンドアバウト」や電柱の地中化工事に理解を深めた。

土木関連の仕事を目指している杉山仁さん(16)は「現場で働いている人の姿はいきいきしている。土木現場で働きたいという気持ちが高まった」と話した。